

亀城福祉だより

第46号
平成22年3月発行
亀城学区社会福祉協議会



亀城小一年生とのふれあい交流会の一コマ

介護予防講座へどうぞ



亀城学区社会福祉協議会
副会長 加藤 曠

元気な高齢者、健康な生活を送られるようにと介護予防講座を学区社協の大きな行事として、東禅寺コミセンを会場に、年間七回開催しています。今年度はダンベル体操、生活習慣病、認知症、長寿医療保険制度、健診の受け方等を鍛え、身近な制度を学び、もっとも知りたい病気を話し合い、楽しみながら参加者全員が一丸となって和気あいあいの中でやっています。

参加者には八十歳代の人も参加し、年々その数も増えてきております。特に野外講座は好評で、バス二台になる程の希望者が殺到し、運営委員会の面々を慌てさせました。講座については参加者から、講師のお話は楽しく、明るく飽きずに、とても解りやすいと好評を得ました。笑うことは健康の秘訣です。今年は男性のかたも多く賑やかになったとの声がありました。介護予防講座は参加者皆で作る講座です。是非地域の皆さん、参加して見ませんか。

地域交流いきいきサロン おらだのあづばり

千石町自治会
福祉部長 富樫 悦子



千石町自治会
会は、昭和四十一年に会員に二二〇名で発足し現在は

世帯数四二六ですが、今年の七五歳以上の敬老会の招待者数二三〇名が示すとおり、高齢化率が三十%弱と高齢化が着実に進んできています。福祉部は、平成十五年に新設されましたが、本年度の地域交流サロンの一端を紹介させていただきます。

「詩吟・唱歌などの会」

毎月二〇日午後一時開催で、講師は、齋藤正一先生（町内と飛島在住）。腹の底から思いつきり声を出して吟じたり、懐メロや歌謡曲、昔の唱歌などを歌ったり、時には詩を詠んだり、又茶菓子をつまみながら、先生と昔の話や最近の事などを話題にして皆さんで楽しんでいきます。



詩吟・唱歌の一場面

発表会は敬老会（六月）や新年会（一月）などの自治会行事の

時に、例会での練習の成果を披露する形で、会員一緒に舞台上に立ち朗々と吟じたり、若い艶やかな声で和気あいあいと歌ったりして大きな拍手をいただいております。

「ちぎり絵教室」

毎月第四水曜日午前十時に開催、講師は「しゅんこう和紙ちぎり絵」の門崎晴子先生（千石町一丁目）です。いろいろな和紙をちぎったり切ったりして、それを台紙に貼って作ります。時間が経つのも忘れるほど熱中

し完成作品を見ては感動し、自然と笑みがこぼれます。手を動かす細かい動作のため脳細胞の活性化になるのかなと勝手に思い込んでいます。作品は友達や親戚に送ったり、家に飾ったりして皆さんに喜ばれています。自治会の文化祭（隔年の十月）や文化センター（年一回）に展示発表しています。例会とは別に「干支作り教室」を自由参加で開催し好評を得ています。

「三十代交流事業」(二月)

婦人部との共催で地域の大人と子どもたちが自治会館に集い、皆で輪投げや昔遊び、手芸などをして楽しく交流します。昔遊びは、けん玉・だるまおとし・お手玉・おはじき・まりつき・こま・みかわ・紙風船・折り紙・竹とんぼ・めんこ。大人が子どもに教える形で始まりますが、童心に帰った昔の子どもたちの方が楽しんでるみたいです。大いに盛り上がりです。手芸はお手玉造りなどで、子どもたちに造り方を教え、できたお手玉で遊び方を練習し昔遊びの本番に備えます。他に「一人暮らし高齢

者との昼食会」(年一回)等を実施しております。千石町自治会では、福祉部が中心になって活動し、これからも皆で仲良く楽しく安心して過ごせるようにお手伝いをさせていただきたいと考えています。



力作揃いの展示発表会

編集委員

(五十音順)

池田 理 (亀子連副会長)
江口 暢子 (自治会役員)
大場 直人 (亀城小PTA会長)
榊原はるみ (民生児童委員)
鈴木 文子 (三中PTA副会長)
土門 嘉美 (福祉協力員)
本間 宏 (自治会長)
守屋 啓子 (給食ボランティア)
矢野 信子 (婦人連協副会長)

「第2回会員研修会」

「ほつと安心、みんなで支える介護保険」

平成二十一年度の第2回会員研修会が二月二十三日に東禅寺「ミセン」にて開催され、講師に介護保険課の主任川島崇史氏をお招き「ほつと安心、みんなで支える介護保険」の出前講演をいただきました。その中の介護（予防）サービス内容について紹介いたします。 本間 宏



講師 酒田市介護保険課 主任 川島 崇史 氏

居宅での暮らしを

支援するサービス

・福祉用具の貸与

心身の機能が低下したお年寄りに、特殊ベッド、車いす、歩行器などの日常生活の自立を助ける用具を貸与するサービスです。（二割自己負担でレンタルできる）

主な品目

車いす★・特殊ベッド★・エアマット★・体位交換器★・歩行器・歩行補助杖 など

★印は、要介護2以上の人が対照です。要支援1・2および要介護1の人は、★印の福祉用具は原則として、保険給付の対

象となりません。（ただし、必要と認められた場合は、例外的に対象となります。）

・福祉用具購入費の支給

特定福祉用具のうち貸与にならない入浴、排泄に用いる用具の、購入費を支給するサービスです。「限度額 年度内で十万円」※（個人負担 一万円・酒田市 九万円負担）

主な品目

腰掛便座、特殊尿器、入浴補助用具、簡易浴槽 など

★購入費支給の対象となるのは、特定福祉用具販売事業所から購入した場合のみですのでご注意ください。

・住宅修繕費の支給

お年寄りが住む住居の小規模な改修に対して、限度枠内で費用が支給されます。

「限度額 原則として生涯二十

万円」※（個人負担 二万円・酒田市 十八万円負担）

- ・廊下や階段、浴室やトイレなどへの手すり設置
- ・段差解消のためのスロープなどの設置
- ・滑り防止のための床材の変更
- ・引き戸などへの扉の取り替え
- ・和式便器から洋式便器への取替え

★工事着工前の申請が必要ですのでご注意ください。

※居宅での暮らしを支援するサービスを受けるには、必ずケアマネージャーに相談してください。



熱心に受講する学区社協の面々

子どもは地域の

エネルギー

亀城小学校長 佐藤 正夫

年一回の一年生と学区の高齢者との交流会の際、子どもたちとゲームをしたり、給食をたべたりしているお姿を拝見していると、どなたも子どもの元気をもらってか、笑顔で生き生きとしています。本校の子どもたちは、地域の多くの方々から温かく見守られる事によって、地域から育てられています。学校でも、子どもたちが積極的に地域に関わる活動を通して、子どもたちの持つエネルギーで地域全体が元気になる一役を担いたいと考えています。



「めんこいのう」1年生との交流会

「亀城小一年生とのふれあい交流会開催」

今年度、亀城小学校一年生と地域に暮らしている高齢者の方々と

のふれあい交流会が十月二日（金）に開催されました。今年度は、酒田市子供会育成連合会会長の宮田浩一氏を講師に招き開催されましたが、若いご婦人が参加されましたので、お二方より当日の感想を投稿していただきましたのでご紹介いたします。

ペアの男の子と

新聞紙でカブト作り

林賀 朋子



「あれっ、サイズが小さいくない？」折り方を間違え

た事に気が付き、二人で大笑い。もう一度折り直す事になり、教え合いながら頭に入るサイズの作品完成。カブトをかぶって誇らしげにポーズを決めるその姿が、なんとも可愛らしく拍手喝采。

次に挑むのは紙鉄砲。様々な紙質で作る、作品を交換しながらパンッ、パンッ。本日最高の「パンッ」が体育館に鳴り響いた時には、二人でVサイン。「いい音だね」と先生の言葉に目を輝かせて、夢中になって紙

鉄砲を鳴らす男の子。

こうして大人が子どもを認める事が、子どもの生きる力と、心の豊かさを育むと改めて感じました。ひいては、学校と地域が認め合いながら、益々力強く、心豊かに成長する地域性を大切にしていきたいと感じます。一年生と会食。「ねえ聞いて。〇ちゃん嫌いな物食べたよ」と、友人の頑張りをも、認める男の子きつと、すてきな六年生になるだろうなあと思ふ顔がこぼれました。

しあわせいっぱい

浅岡 千賀子



今、十月二日のデジカメを見ています。写真には、私のボーイフレンドとツーショ

ットで写っています。ボーイフレンドとは「亀城小学校一年生とふれあい交流会」に参加し、一緒の組になったカッコイイ彼です。会の初めに彼と対面しました。彼は勿論、私も緊張してしまいがちない感じでした。会が始まり、最初の新聞紙でカブトをつくりました。直江兼次の「愛」の旗じるしをカブトに掲げてからは一変、打ち解けた雰囲気になりました。次に紙鉄砲、折り紙飛行機を作り、上手にできました。最後は体を使ったゲームをしました。大人と子ども達に別れての対戦です。対戦と聞いたとたんに、大人気なく、子ども達に負けじと躍起になりました。大きな声と笑い声は体育館一杯にし、天まで届いたと思います。腹から笑え楽しいアツと言う間の二時間でした。これで解散かと残念に思っていたら、ランチルームに移動して、給食の時間でした。体も心も幸せ一杯でした。ありがとうございます。「私の彼にまた逢いたいなあ」

心をこめて「新入生体験入学」を企画

酒田市立第三中学校

新生徒会執行部が昨年十一月から準備を進め、リハーサルを繰り返し、一年生も学年生徒会で昼休みの時間も歓迎の合唱の練習を重ね、二月一日に「新入生体験入学」を迎えました。

当日は、出迎えから整列、校舎案内、歓迎の合唱、〇×クイズ、中学生生活の説明などを通して、笑顔と温かな心を伝えることが出来ました。その後、亀城小学校から六年生全員の感謝のメッセージが届き昇降口に掲示しています。今から、仲間が増える四月を楽しみにしています。



ハーモニーが奏でる歓迎の合唱